

手術部

1 構成員

	平成18年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	2人（2人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	0人

2 教員の異動状況

- 白石 義人（助教授）（2003. 07. 01～現職）
 三条 芳光（助手）（1977. 12. 16～現職）
 森田 耕司（助手）（1978. 04. 16～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成17年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5編（1編）
そのインパクトファクターの合計	13.50
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	3編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	4編（4編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Kurita T., Morita K., Fukuda K., Uraoka M., Takata K., Sanjo Y., Sato S.: Influence of hypov-

olemia on the electroencephalographic effect of isoflurane in a swine model. Anesthesiology 102: 948-953,2005.

2. Doi M., Morita K., Mantzaridis H., Sato S., Kenny N.C.G.: Prediction of responses to various stimuli during sedation: a comparison of three EEG variables. Intensive Care Med 31: 41-47,2005.
3. Igarashi H., Obata Y., Nakajima Y., Katoh T., Morita K., Sato S.:Syringe pump displacement alters line internal pressure and flow. Can. J. Anesth. 52: 685-691,2005.
4. Kurita T., Morita K., Fukuda K., Uraoka M., Takata K., Sanjo Y., Sato S.: Influence of hemorrhagic shock and subsequent fluid resuscitation on the electroencephalographic effect of isoflurane in a swine model. Anesthesiology 103: 1189-1194,2005.

インパクトファクターの小計 [13.50]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 板垣大雅, 横山順一郎, 佐藤由紀江, 渥美和之, 藤井俊輔, 白石義人, 及川文雄, 航 尚子, 内山智浩, 鈴木かつみ, 須賀昭彦, 塩酸モルヒネ併用0.2%ロピバカインを用いた下腹部手術の術後持続硬膜外鎮痛 — 至適投与速度の検討 — 静岡県立総合病院医誌 19: 37-42

インパクトファクターの小計 [0.00]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 佐藤重仁: 危機的状況における麻酔管理 (AMCS) セミナー, 新教育制度におけるシミュレータ教育, 新研修医制度における教育 日本医学シミュレーション学会講演抄録集 (危機的状況における麻酔管理 (AMCS) セミナー) 2006: 7-8
2. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 小楠敏代, 佐藤重仁: 浜松医科大学における医学シミュレーションの歩み—シミュレーションセンター開設をめざして 第1回日本医学シミュレーション学会総会抄録集 2005: 12

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 望月圭太, 中井孝芳, 三条芳光, 他: 聴診音可視化装置 “Visistetho” の開発. 第11回画像センシングシンポジウム講演論文集. 227-230, 2005

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人: — 特集 — 救命先決! 手術室緊急対応の最重要パターン 5. 局所麻酔薬中毒. OPE nursing 20: 47-50, 2005. メディカ出版
2. 白石義人, 安澤則之: 日本臨床麻酔学会第24回大会パネルディスカッション: 術前麻酔科管理の問題点を徹底検証するPBL (Problem based learning) 麻酔リスクのインフォームドコンセントに対する考え方. 日臨麻会誌25: 588-594, 2005.

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人：I. 術前の麻酔管理計画段階でのトラブルシューティング【循環器に関するトラブル】，麻酔科診療プラクティス17，麻酔科トラブルシューティング 72-76，2005. 弓削孟文（編）（株）文光堂
2. 白石義人：IV 麻酔リスクのインフォームド・コンセント：麻酔科術前管理ハンドブック 209-220，2005. 弓削孟文（編）真興交易(株)医書出版部
3. 三条芳光，佐藤重仁：第18章 関連機器・器材・システムの進歩：1. 麻酔情報システムの新しい流れ先端医療シリーズ33 麻酔科の新しい流れ 335-339，2005. 後藤文夫，並木昭義，島田康弘，小川節郎，真下 節，古家 仁，野村 実，福田和彦（編）(株)寺田国際事務所／先端医療技術研究所
4. 森田耕司：プロポフォールのpharmacokinetics, pharmacodynamicsと臨床への応用：バランス麻酔：最近の進歩（改訂版），p63-70，2005 克誠堂出版，東京

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 白石義人：[症例検討] — 術中心停止への対応 — 開頭手術中の心停止：まず人を集め，閉創と心マッサージを. Lisa 12: 540-543，2005.

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 望月利昭，土井松幸，佐野秀樹，中川智永子，藤井俊輔，白石義人，数井暉久，佐藤重仁：交通外傷後のMyonephropathic metabolic syndrome (MNMS) において線溶過剰抑制状態が観察された一例. 蘇生24: 21-24，2005.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成17年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成17年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (70万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)

(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	1件 (100万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 三条芳光(代表者) 萌芽研究: カラー三次元可視化聴診呼吸音モニターの萌芽的試作70万円(継続)

(5) 受託研究または共同研究

1. 三条芳光: 平成16年度静岡産業創造機構「呼吸音3次元可視化モニター装置の手術臨床応用の研究開発と製品化」(継続) 500万円のうち浜松医大分100万円(株)コー・プランニングより

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	2件
(2) シンポジウム発表数	0件	2件
(3) 学会座長回数	0件	7件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

ポスター発表

1. Makino H., Sanjo Y., Takasumi Katoh M.D., Mochizuki K, Nakai T.; Sato S: A Pilot Study to Detect Esophageal Intubation T, Mochizuki K, Sato S: Using dual channel Visual Stethoscope (D-VisiStetho), European Society of Anaesthesiology 2005, 6.28-3, 2005 Vienna, Austria
2. Igarashi H, Suzuki A, Sanjo Y, Morita K, Sato S: The training of the automated anaesthesia record keeper with high fidelity human patient simulator for novice residents. Annual Meeting of the European Society of Anaesthesiology 2005, 5.28-31 Vienna, Austria

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 小楠敏代, 佐藤重仁: 危機的状況における麻酔管理(AMCS)セミナー, 新教育制度におけるシミュレータ教育, 新研修医制度における教育, 平成17年6月2, 3, 4日, 日本麻酔科学会第52回学術集会, 日本医学シミュレーション学会共催, 神戸市,
2. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 小楠敏代, 佐藤重仁: 浜松医科大学における医学シミュレーションの歩み-シミュレーションセンター開設をめざして, 第1回日本医学シミュレー

ション学会総会，2005年11月18日，大阪市

3) シンポジウム発表

1. 白石義人：集中治療とリスクマネージメント 第32回日本集中治療医学会総会 2005.2.24～26 東京都
2. 白石義人：緊急麻酔に欠かせないスキル 第25回日本臨床麻酔学会 2005.11.17～19 大阪市

4) 座長をした学会名

1. 森田耕司：日本臨床麻酔学会第25回大会
2. 白石義人：日本麻酔科学会第52回学術集会
3. 白石義人：日本集中治療医学会第13回東海北陸地方会
4. 白石義人：日本小児麻酔学会第11回大会
5. 白石義人：日本臨床麻酔学会第25回大会
6. 白石義人：浜松医科大学麻酔・蘇生学教室同門会学術発表会
7. 白石義人：浜松医科大学麻酔・蘇生学教室同門会学術発表会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 森田耕司：日本麻酔・集中治療テクノロジー学会評議員（平成13年より）
2. 森田耕司：日本静脈麻酔インフュージョン研究会評議員（平成13年より）
3. 森田耕司：日本医学シミュレーション学会評議員（平成17年より）

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成17年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成17年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. エントロピー，複雑度など確率論的冗長度による脳波解析と麻酔深度

2. 高機能麻酔患者シミュレータによるハイテク麻酔関連機器の習熟教育と訓練
3. 国内ユーザーからみた高機能麻酔患者シミュレータの問題点と展望
4. 自動麻酔機録システムによる麻酔業務と麻酔経済分野への新展開
5. 呼吸音の周波数解析による3次元解析

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. 脳波数値モデルによる麻酔深度定量値の評価とその表示技術
2. 呼吸音の3次元可視化